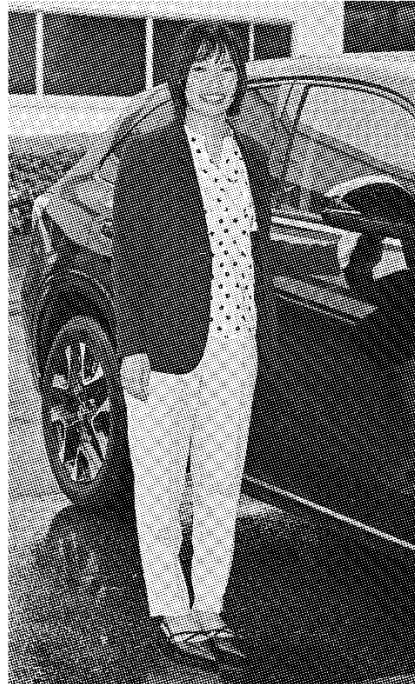


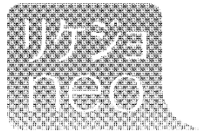
リーダー級の設計者に



森六

川澄 七海さん

生産事業本部開発部設計課



(1面から続く) 東洋大学
生命科学部応用生物科学科で
生命現象の原理を学びまし
た。仮説を立てて実験しリポ
ートを書く。細部まで追求す

る姿勢や観察力は大学の研究が活かされています。

何かを作りたいと思っていました。大学時代に乗っていたホンダの小型ミニバン「フリード」の部品は当社が手がけています。自分が触れるもの、身近なものを作っているのがすごいと感じたのが、入社のきっかけです。

CADを使って作図し、自動車メーカーとの仕様の打ち合わせや改良を議論し、北米やインドなど海外の現地部署ともやりとりをしています。

同じ部品でも時代によってデザインが変わります。設計しても工場で作れなければ意味がない。部品を作り、組み立てて、納品する。そこまで不具合がないように気をつける。さまざまな立場で考えることを大切にしています。

失敗したらどうしようと思うことがあります。気付いたことや不安なことは上司にすぐに確認して問題になる前に解消する。責任感と自信を持って顧客に対応することを大事にしています。

週末は買い物などでリフレッシュしています。ドライブが好きで路上で車を見ることもあります。手が傷付かないよう配慮されていたり、見栄えが良いよう工夫されていたり。部品を見てると新たな発見があります。

2025年で入社6年目。後輩も増えてきました。自信を持って技術の指導ができる先輩になり、品質とコストのバランスが取れた提案ができる設計者になる。そのためには技術をさらに身につけたいです。私が入社してから設計課で女性のリーダーは見えていません。仕事と家事を両立させるリーダークラスの設計者に私がなりたいです。

(文＝編集委員・村上毅、写真＝富家邦裕)